

# 住民啓発モデル事業の概要

(1) 住民広報用  
パンフレット作成支援

(2) 住民用災害廃棄物等  
搬出マニュアル作成支援

(3) ボランティア向け研修会、住民向け研  
修及び模擬訓練の実施等

第1回ワーキング会議(基礎講座+ワークショップ)

※長岡京市、京田辺市、寝屋川市は合同開催。泉佐野市は個別開催。

ボランティア向け研修会  
(基礎講座+ワークショップ)

長岡京市、京田辺市、  
寝屋川市

泉佐野市

茨木市

模擬実験  
実施マニュアル

パンフレット(素案)

第2回ワーキング会議  
(ワークショップ)

地域・全地域マニュアル  
(第1案)

かつらぎ町

新宮市

第2回ワーキング会議  
(ワークショップ)

住民  
アンケート

住民個人学習資  
料配布

第2回ワーキング会議  
(ワークショップ)

全地域  
マニュアル  
(素案)

地域・全地域マニュアル  
(第2案)

模擬訓練  
資料作成

住民  
アンケート

第3回ワーキング会議  
(ワークショップ)

第3回ワーキング会議  
(ワークショップ)

パンフレット(最終案)

全地域マニュアル  
(最終案)

地域・全地域マニュアル  
(最終案)

災害廃棄物等  
搬出マニュアル(案)

●全地域マニュアル: 市域全体共通のマニュアル ●地域マニュアル: 町会・自治会レベルの具体的な地域特性を反映したマニュアル

## (1) 住民広報用パンフレット作成支援 概要

対象3市における「災害時における廃棄物処理」の住民向け広報パンフレットの作成支援を実施した。

対象3市(長岡京市、京田辺市、寝屋川市)の職員等を対象として、合同形式でのワーキング会議を開催した。第1回のワーキング会議では災害廃棄物の基礎講座及びワークショップを実施した。災害時に連携する可能性のある他部局からの参加もあり、ワークショップでは各市で「災害時に住民にしてほしいこと」「マニュアルに載せる情報」について意見交換を実施した。

第2回のワーキング会議では、第1回のワーキング会議及び各市へのアンケートの結果から、住民広報用パンフレット(素案)を提示し、内容について検討していただいた。合同開催であったため、他市の内容を参考にする場面も見受けられた。

	実施日	対象	実施内容
第1回WG	令和2年11月18日(水) 13:30~16:00	行政職員 (災害廃棄物担当者等)  参加:長岡京市、京田辺市、寝屋川市、茨木市	1. 基礎講座 講演①「京都府における災害廃棄物処理支援 ~片付けごみの分別に焦点を当てて~」 (京都府 府民環境部 循環型社会推進課) 講演②「災害時の廃棄物処理について」 (大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課) 2. ワークショップ 発災後のごみ対応における課題を想定し、 ①住民の方にしてほしいこと ②マニュアルに載せる情報 について意見交換、発表
第2回WG	令和3年1月26日(火) 13:30~16:00	行政職員 (災害廃棄物担当者等)  参加:京田辺市、寝屋川市	1. ワークショップ パンフレット(素案)を用い、 ①構成や流れについて検討 ②各ページの記載内容の検討 ③最終案の方針をとりまとめ について意見交換



※第1回WGは茨木市も参加(情報共有や意見交換のため)。第2回WGは新型コロナウイルス対策により長岡京市は欠席(電話、メールでフォロー)。

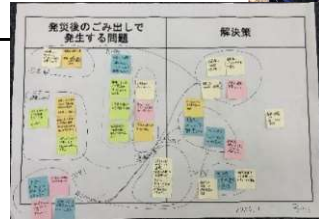
## (2) 住民用災害廃棄物等排出マニュアル作成支援 概要

対象2市（泉佐野市、茨木市）における自治会等の住民と連携し、発災時における片付けごみ等の搬出マニュアルの作成支援を実施した。

対象2市の災害廃棄物担当者等の行政職員と、自治会等の住民を交えたワーキング会議を開催した。

### ■泉佐野市

	実施日	対象	実施内容
第1回WG	令和2年10月21日(水) 13:30～15:40	行政職員 (環境衛生課、自治振興課、道路公園課、地域共生推進課、社会福祉協議会)  清掃事業者	1. 基礎講座 講演①「災害廃棄物処理対応の概要」(環境省近畿地方環境事務所) 講演②「災害時の廃棄物処理について」 (大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課)  2. ワークショップ 発災後のごみ対応における課題を想定し、 ①住民の方にしてほしいこと ②マニュアルに載せる情報 について意見交換 ③各班の意見交換結果を発表、意見交換
第2回WG	令和2年11月1日(日) 14:00～15:30	住民(自主防災組織連絡協議会会長、15地区の自主防災会等の会長)	1. 基礎講座 「災害によって発生するごみの基本と市民に期待されること」 (国立研究開発法人国立環境研究所 特別研究員 森様)  2. ワークショップ ①発災後のごみ出しで発生する問題 (困ること、悩むこと、わからないこと) ②解決策 について意見交換
第3回WG	令和3年1月21日(木) 13:30～15:30	行政職員 (環境衛生課、危機管理室、自治振興課、地域共生推進課、社会福祉協議会)	1. ワークショップ マニュアル(素案)を用い、 ①構成や流れについて検討 ②各ページの記載内容の検討 ③全体方針について意見交換



### ■茨木市

※第1回WGは「1. 住民広報用パンフレット作成支援」対象市と合同開催。

	実施日	対象	実施内容
第2回WG	令和2年12月19日(土) 19:00～21:00	茨木市西河原地区の住民	1. 基礎講座 講演①「茨木市の災害リスクと対策」(茨木市 総務部 危機管理課) 講演②「災害によって発生するごみの基本と市民に期待されること」 (環境省 近畿地方環境事務所)  2. ワークショップ ①災害時に発生するごみに関するクイズ  ②片付けごみを出すときの問題 (心配なこと、困ること、わからないこと) ③どうすれば解決できるかについて意見交換
第3回WG	令和3年2月6日(土) 14:00～16:00	茨木市西河原地区の住民	1. ワークショップ 作成中のマニュアル(素案)を参考にし、 ①どのような片付けごみが出てくるか想定 ②自宅から集積所までの運搬ルートを想定 ③集積所での荷下ろしを想定 最終的に ④災害時のごみ出しに関する地域の取組 (注意が必要なこと、協力し合うこと、地域で決めておきたいこと等) を意見交換



# (3) ボランティア向け研修会、住民向け研修及び模擬訓練の実施等 概要

**和歌山県と連携して、ボランティア向け研修会を実施した。**  
**かつらぎ町及び新宮市と連携して、住民向け模擬訓練や研修会のための資料作成を実施した。**

和歌山県と連携し、ボランティアに対し災害廃棄物処理の基礎講座及び被災時に困ること等について意見交換を実施した。  
 ボランティア向け研修会を受けて、模擬実験実施マニュアルを作成し、かつらぎ町で開催予定だった住民参加型の模擬訓練に必要な資料作成を行った。  
 また、新宮市において開催予定だった、住民向け図上演習に必要な資料作成を行い、各対象住民へ配布し自己学習をしていただき、災害時のごみ出し時の課題や解決策についてのアンケートを実施した。

## ■ボランティア向け研修会

実施日	対象	実施内容
令和2年10月31日(土) 10:30~15:30	和歌山県ボランティア登録者	1. 研修会 講演①「災害廃棄物処理対応の概要」(環境省 近畿地方環境事務所) 講演②「和歌山県災害廃棄物処理計画について」 (和歌山県 環境生活部 環境政策局循環型社会推進課) 2. ワークショップ ①話題提供 (社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会) ②ごみ出し作業をする上での課題とその対応策 (悩んだことや困ったこと、わからなかったこと⇒どうすれば課題を解決できるか) 3. 講評(神戸大学 准教授 田畑先生)



## ■かつらぎ町

### 【模擬訓練概要】

- 日時: 令和3年1月16日(土)⇒延期 令和3年2月21日(日)  
⇒緊急事態宣言延長のため中止
- 開催場所: かつらぎ町新城地区
- 参加対象: 新城地区住民(18世帯)、かつらぎ町、和歌山県、ボランティア等
- 実施内容:
  - 住民の方が、自宅から集積所まで、事前に回答した片付けごみを搬出する。
  - かつらぎ町廃棄物担当職員が、集積所の設置から廃棄物の受入れまでのシミュレーションを実施する。
- 期待する効果:
  - 片付けごみの分別搬入の重要性を確認
  - 住民の方の片付けごみ搬出の疑似体験
  - 町廃棄物担当職員における災害廃棄物処理対応の疑似体験
  - 関係団体を含む関係者との交流・意見交換

2. 当日のスケジュール	3. 使用するごみの区分
1. 実施概要	
かつらぎ町 片付けごみ搬出模擬訓練 実施要項 令和3年2月21日(日) (予備日:令和3年2月23日(火祝))	目次 1. 実施概要.....1 2. 当日のスケジュール.....3 3. 使用するごみの区分.....4 4. 集積所のレイアウトと搬入経路.....5 5. 集積場の配置の図.....6 6. 注意事項.....8 7. 搬出後の処理の図.....9 8. 緊急連絡体制.....10

## ■新宮市

### 【住民向け研修概要】

- 日時: 令和2年12月16日(水)⇒緊急事態宣言延長のため中止
- 参加対象: 新宮市王子権現親睦会の方(住民)
- 実施内容:
  - 住民に対し災害時のごみに関するクイズ及びアンケートを配布⇒アンケートは後日回収
  - 災害廃棄物に関する基礎学習資料を配布  
(国立研究開発法人 国立環境研究所 提供資料)
- 期待する効果:
  - 災害廃棄物に関する基礎的知識の習得(集積所での分別等)
  - 災害廃棄物等搬出マニュアルへの反映

### クイズ1

片付けごみに当てはまるものはどれでしょう？

壊れた自転車、壊れた瓦、ごみ、壊れたテレビ、壊れた冷蔵庫、壊れたパソコン、壊れた洗濯機、壊れたパソコン、壊れた洗濯機

### アンケート

これまで、水害や地震などの自然災害で、被災した経験はありますか。該当する選択肢を○で囲んで下さい。

1 ある  
2 ない

ご経験がある場合は、ごみ出して困ったこと・感じたことをご記入下さい。

### クイズ2

集中豪雨が家が被災してしまいました。市からの案内はまだありません。あなたは片付けごみをどこに持っていきますか？

A. 家の前  
B. 近くの空き地  
C. 市のお知らせを待つ

### アンケート

災害が起きた場合、どのような手段で情報を入手しますか。A~Hのうち優先順位の高いものを3つ選んで、該当する選択肢を○で囲んで下さい。

A. SNS B. オンライン検索  
C. ホームページ D. 近隣住民等の口コミ  
E. テレビ F. ラジオ  
G. その他( )

※「G.その他」を記入した場合は、具体的な内容を後述の欄に記入して下さい。